

## 事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 (課長補佐兼県営ほ場整備係長 鈴木 敏亮)	内線	4003 (4014)
--------------	---------------------	---------------------	-------------------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	7.9 億円
		経営体育成基盤整備事業	御陵 期	内用地補償費	0.26 億円
所在地			事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
南あわじ市鍛冶屋、賀集			H18	H18	H22
事業目的			事業内容		
区画形質の改善や水路、農道等の整備を行い、経営感覚に優れた経営体を中心となって優良農地を将来にわたり維持・保全することで食料の安定供給力を向上させ、農業の多面的機能を発揮することを目的とする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区画整理 28.5ha</li> <li>・ 負担率 [ 国 50% 県 27.5% 市 17.5% 地元 5% ]</li> </ul>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	本地区は県でも有数の農業地帯であるが、小区画、不整形であり、農業従事者の高齢化と併せて多大な労力の負担となっている。このような状況の中、早急に生産基盤の整備を行い、農作業機械の大型化による生産性の向上と農地の高度利用により、効率的かつ安定的な農業経営を行える担い手の育成を図り、地域農業の健全かつ持続的な発展を図る必要がある。				
(2)有効性・効率性	費用便益比B/C=1.40、所得償還率7.5%であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率100%(87/87) 担い手への農地集積 5.3ha (16.1%) 9.0ha (31.6%)				
(3)環境適合性	地区内に多くある湧水は保全していくこととし、アヤメなどの景観植物を植生するなど、景観や憩いの場づくりに配慮していく。 農道の舗装材料として、資源循環のため再生砕石の積極的活用を図る。				
(4)優先性	山路川の改修に併せ、河川用地を創設配置することにより用地取得が容易になるとともに、洪水被害の防止が図れる。				